

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	自然言語処理論		
英文授業科目名	Language and Linguistic Information Processing		
開講年度	2006年度	開講年次	3年次
開講学期	6学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	情報工学科		
担当教官名	小嶋 秀樹		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kozima.hideki@gmail.com	http://www.nict.go.jp/x/x164/people/xkozima/course.html

【主題および達成目標】

インターネットの普及にともない、たとえば情報検索・要約・翻訳といった「自然言語処理」の必要性が高まっています。この授業では、コンピュータで自然言語テキスト（日本語・英語などの文章）を自動処理するために必要となる言語学的知識と主な処理手法について、その基礎を学びます。

【前もって履修しておくべき科目】

C言語での基本的なプログラミングと、日本語および簡単な英語の読み書きができればよいでしょう。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

とくにありません。

【教科書等】

とくにありません。

参考書をひとつあげるとすれば、

長尾 真(編)：自然言語処理，岩波講座ソフトウェア科学15，岩波書店，1996。
がよいでしょう。

【授業内容とその進め方】

書きことば（テキスト）の文法処理・意味処理などに重点を置きます。音声処理や文字認識などはこの授業では扱いません。授業は主に PowerPoint を使って進めます。毎回の授業の前日までに、PowerPoint 資料を PDF 形式に変換して、このページから閲覧・ダウンロードできるようにします。

電気通信大学 平成18年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

レポートまたはプログラミングプロジェクトのいずれかを提出してもらいます。自然言語処理の基礎的な手法とその応用について理解できていれば合格とします。提出していない場合は、自動的に不合格となります。

【オフィスアワー：授業相談】

質問等については、授業の直後に捕まえるか、もしくは電子メール（kozima.hideki@gmail.com）で受け付けます。

【学生へのメッセージ】

コンピュータと会話したり、自然言語でコンピュータを操作したりすることは、とてもエキサイティングな分野です。最近では、情報検索・自動翻訳・迷惑メール処理など、いろいろな場面での応用が期待されています。言語学・心理学と情報工学をつなぐ勉強をとおして、人とコンピュータの関係について考える機会にしてください。

【その他】

初回は10月2日(月)です
初回に限り、資料は後日アップロードさせていただきます。